

平成23年度 シラバス	学年・期間・区分	5年次・前期・A群	
	対象学科・専攻	土木工学科	
河川工学 (River Engineering)	担当教員	西留 清 (Nishidome, Kiyoshi)	
	教員室	都市環境デザイン工学科棟3階 (Tel 42-9119)	
	E-Mail	nisdome@kagoshima-ct.ac.jp	
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	講義・演習 / 学修単位[講義 I] / 1単位		
週あたりの学習時間と回数	[授業 (100分) + 自学自習 (80分)] × 15回		
<p>[本科目の目標] 地球環境・地域社会に位置付けられた河川に関する理解と技術を学ぶ。このため、川を治水・利水・環境の3つの観点から、実際の川に足を運び、レポートを作成、総合学習を行う。</p>			
<p>[本科目の位置付け] 数学・物理学・情報処理・地学・環境生態学・水理学・計画学・歴史学・施工学・環境工学等との関連がある。</p>			
<p>[学習上の留意点] 河川行政の中で、幅広い視野・土木技術者としての倫理、地球環境問題における河川を対象にした総合的学習を行う。学習の内容をよく理解するために、毎回、予習や演習問題を含む演習として、100分以上の自学自習が必要である。講義時に提出すべき課題が与えられた場合、2時間程度の復習に取り組み、レポート提出を行うこと。疑問点があれば、その都度質問すること。</p>			
[授業の内容]			
授 業 項 目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
1. 河川と社会	4	文明と川、地勢を見る、河川の管理が理解できる 演習問題を通して理解を深めることができる	左記各項目についてテキストを使って予習をしておく。
2. 河川技術の基礎	4	流出解析、計画高水の水理が理解できる 演習問題を通して理解を深めることができる	
3. 川と治水	6	水害の変遷、治水対策の変遷、治水対策の手法が理解できる 演習問題を通して理解を深めることができる	
--- 中間試験 ---		1~3の授業項目について達成度を確認する。	
4. 川と利水	8	川の水利用、ダム、貯水池の水質水理が理解できる 演習問題を通して理解を深めることができる	左記項目の内容について、参考書等を読んで概要を把握しておく。
5. 川と環境	6	河川環境とは、河川の水質、魚が住む川、植生のある川へ、多自然型川づくりが理解できる 演習問題を通して理解を深めることができる	
--- 期末試験 ---		4と5の授業項目について達成度を確認する。	
試験答案の返却・解説	2	試験において誤った部分が理解できる	

